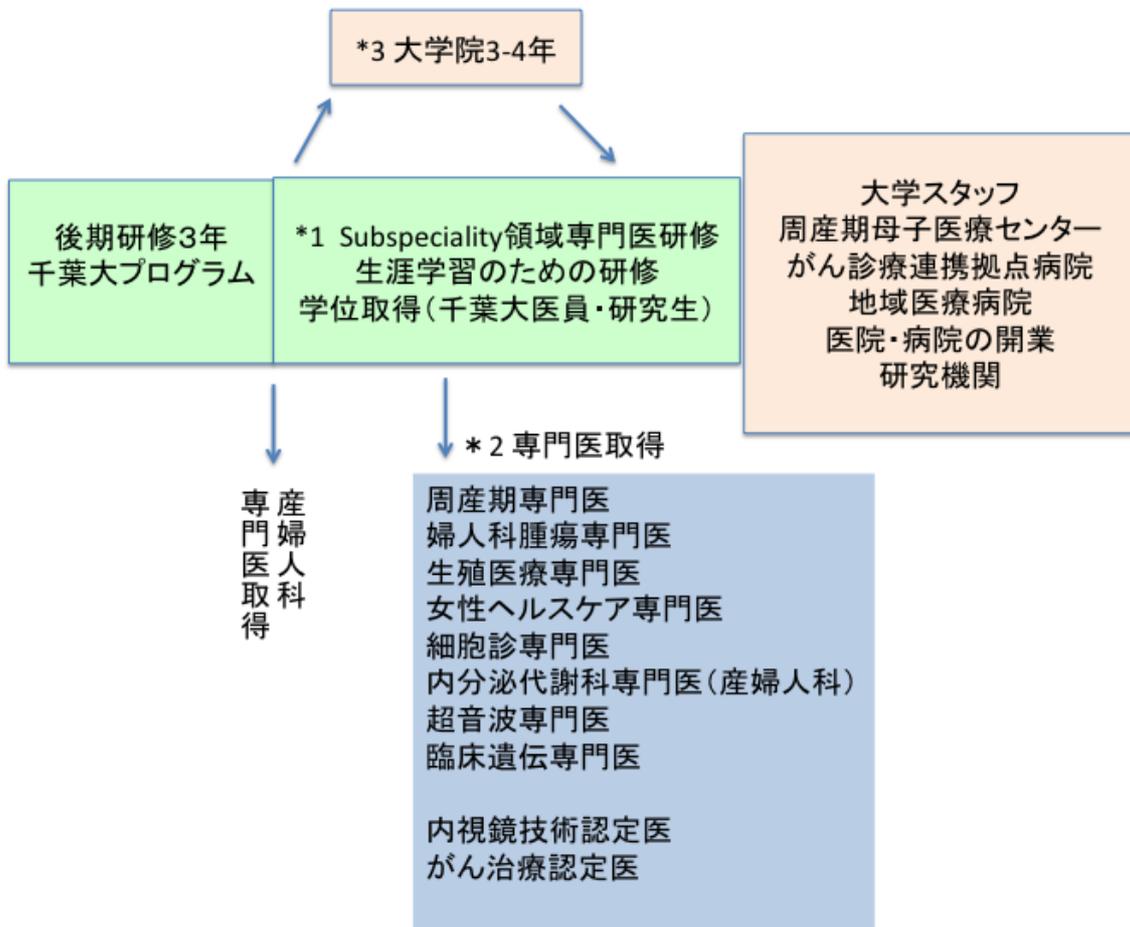


## サブスペシャリティの取得に向けたプログラム

千葉大学産婦人科研修プログラムは専門医取得後に以下の専門医・認定医取得へつながるようなものとする。

- ・日本周産期・新生児医学会 母体・胎児専門医
- ・日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医
- ・日本生殖医学会 生殖医療専門医
- ・日本女性医学学会 女性ヘルスケア専門医
- ・日本産科婦人科内視鏡学会 技術認定医
- ・日本臨床細胞学会 細胞診専門医

専門医取得後には、「サブスペシャリティー産婦人科医養成プログラム」として、産婦人科4領域の医療技術向上および専門医取得を目指す臨床研修や、リサーチマインドを育成しおよび医学博士号取得を目指します。また、どの時期からでも大学院へ進学することができます。昼間は一般病院に勤務して、夜間のみ大学院で研究することも可能です。優秀な成績で卒業すれば、3年間で医学博士号を取得することもできます。臨床の場であたためてきた問題や疑問を解決したいという強いパッションが生まれたときに、良い研究へと発展するものです。したがって、臨床の現場での研修をしながら、疑問をもつ目を養ってください。そして、その疑問を解決したいと思ったときに研究生生活にはいる決心をしてほしいと思っています。希望があれば、基礎講座に所属して基礎的な研究を行うことも可能です。大学院生として研究生生活の間も大学附属病院所属として臨床研修をつづけることができます。ただし、このプログラムは、千葉大学への入局が条件となります。



- \*1：国立循環器病センター、癌研病院、加藤レディースクリニックなど、いずれも国内で最多症例数をほこる専門病院でのサブスペシャリティ研修を希望により実施（3-12ヶ月間）。千葉大付属病院麻酔科研修6ヶ月および、新生児研修6ヶ月も実施
- \*2：産婦人科専門医（認定医）資格を取得したのちに初めて取得できる資格（周産期専門医、婦人科腫瘍専門医、生殖医療専門医、女性ヘルスケア専門医、細胞診指導医、内分泌代謝科専門医（産婦人科）がん治療認定医、内視鏡技術認定医、臨床遺伝専門医）と、基本資格と関係なく取得できる資格（超音波専門医、漢方専門医など）がある。
- \*3：大学院は4年間であるが、評価の高い論文を作成して3年間で博士号を取得することが可能。